

令和7年度 朝霞市市民人権教育研修会

避難生活で命と健康、本当に守れますか？

～被災地の実情から学ぼう！高齢者・障害者・子ども・女性などの視点から～

2025年

5月22日 木

午後2時～3時30分

開場：午後1時30分

東日本大震災から今年で14年の年月が経ちましたが、今もなお、震災やその後に発生した災害によって避難生活を余儀なくされている人が多くいます。避難生活における問題は数多く、トイレ問題などの衛生面、プライバシーなどの安全面等さまざまな問題が挙げられ、これらは人権侵害に繋がる深刻な問題でもあります。また、多くの問題に対する視点や関心は、性別や年齢などにより異なるため、避難所運営におけるリーダーは男性のみならず、女性の参画も必要不可欠です。過去の災害から多様な視点の防災・減災の重要性と災害時の人権問題について考えます。



中央公民館・コミュニティセンター
1階 集会室

定員

50名(事前申込制・先着順)

申込期間

令和7年5月21日(水)まで



参加費無料

申込方法

電話または朝霞市ホームページの電子申請からお申込みください。当日参加も可能です。



手話通訳あり

申込専用QRコード ▶



【講師プロフィール】

あさの さちこ

浅野 幸子 氏



- 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
- 早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

阪神・淡路大震災の被災地へ学生ボランティアとして入ったあと、NGOスタッフとなり4年間支援に携る。その後、(財)消費生活研究所、地域婦人会の全国組織で事務局・研究員として働く。2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークに参画、2014年から現職。各地で、防災講演・講座・研修を行いながら、国の「避難所運営ガイドライン」(2016)「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(2020)策定など、国や自治体の防災政策にもかかわる。法政大学大学院公共政策研究科後期博士課程修了。博士(公共政策学)。専門は災害社会学、地域防災、災害とジェンダー。早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員、(一社)福祉防災コミュニティ協会 認定コーチ。

お問い合わせ

朝霞市生涯学習・スポーツ課

Tel : 048-463-2920

【主催】朝霞市・朝霞市教育委員会・朝霞市人権教育推進協議会